

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月18日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部/ 国際日本学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年6月1日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校 (日本語名) College of Staten Island, The City University of New York(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:8 月下旬 ～12 月中旬 2 学期:1 月下旬～5 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 13500
創立年	1976

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USD \$)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舍費	\$15,360	約 2,000,000 円	1 学期で\$7680(当時のレートで約 100 万)
食費		300,000~400,000 円	1 学期\$935 の強制ミールプラン込
図書費	0	0円	教科書を使わない授業を取りました。
学用品費	\$2	約 300 円	ルースリーフのみ
携帯・インターネット費	\$225	約 31,500 円	月に\$25 で 12GB のプラン
現地交通費		約 130,000 円	毎週末 約\$25(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		200,000~300,000 円	プロトウェイミュージカルを 15 回鑑賞
被服費		~30,000 円	古着屋巡りなど
医療費	0	0円	
保険費		132,490 円	形態:明大サポート
渡航旅費		326,775 円	
ビザ申請費		約 50,000 円	
雑費		30,000 円	ヘッドシツ、布団、タオル、日用品など
その他		円	
その他		円	
合計		約 3,350,000 円	

渡航関連			
渡航経路			
往路 出発地:NRT 成田国際空港 目的地:EWR ニューアーク空港 経由地:LAX ロサンゼルス国際空港			
復路 出発地:JFK ジョンエフケネディ空港 目的地:HND 羽田空港 経由地:GTW ロンドン, CDG パリ			
渡航費用			
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:			
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ZIP AIR, American Airlines 料金:128,705 復路 航空会社:North Atlantic Airlines, Air France 料金:198,000 ∴合計:326,775 円			
航空券購入方法			
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)			
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:各航空会社の HP)			
<input type="checkbox"/> その他()			

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Dolphin Cove) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

寮のマネージャーにメールをし、申請方法について教えてもらいました。寮のホームページからそのまま手続きができます。しかし寮費の振り込みは海外送金で時間がかかるので早めに申請をした方が良いです。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

とても楽しく多くのことを学べた留学経験でした。自分から積極的に人に関わることをお勧めします。ニューヨークの中心地であるマンハッタンまで 1 時間でいけるので娯楽には困らないです。しかし物価はとても高いので節約しながら生活をする必要があります。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

外務省海外安全 HP や在ニューヨーク日本国総領事館から送られてくるメールを見ていました。ニューヨークの地下鉄は治安が悪いという話をよく聞きますがしっかりと気をつけていればなんのトラブルもなく利用できました。特に犯罪には巻き込まれなかったです。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮やキャンパスの Wi-Fi で特に問題はありませんでした。現地で購入した SIM カードもいわゆる格安 SIM のものですが通信に特に問題はありませんでした。街の中にも多くのフリー Wi-Fi があるので SIM を契約する際そこまでたくさんのデータは必要ないと思います。私は月に 12GB のプランでしたが毎月 5GB ほど余っていました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座は開設しませんでした。自分の日本の口座に親から振り込んでもらい基本はクレジットカードで生活していました。現金は友達と割り勘するとき以外ほとんど使っていません。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

立地がニューヨークということもあり無印良品やダイソー、日系スーパーなどはたくさんあります。そのため日本でしか調達できないのはほとんどないです。しかし値段は 3 倍ほどするため必要なものは日本から持ってくるべきです。特にスキンケアなどは合う合わないがあるので 1 年分持ってきてしまっても大丈夫だと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INT 100 International Studies	国際学
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回
担当教授	Stephen Ferst
授業内容	様々な国際問題や歴史、時事的な問題まで幅広く学習した。
試験・課題など	期末に対面の試験があった。また 2000words のペーパーを 3 回提出した。
感想を自由記入	教授が一方向的に説明をするだけではなく生徒も積極的に意見を交わす授業だった。世界の国家間の関係について様々な視点で学ぶことができた。教授はとても優しく、わかりやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ANT 100 Understanding Our Worlds	人類学
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回
担当教授	Joy Mampilly
授業内容	人類学について基本的な知識や考え方を学習した。
試験・課題など	期末は対面で試験がありそれ以外にペーパーを提出した。
感想を自由記入	教授の英語は少し聞き取りづらかったが授業内容自体はとても興味深かった。生徒が自分の意見を積極的に教授にぶつけることが多く、多角的な視点で学習ができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SOC100 People and Society	社会学
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に85,55分が計2回
担当教授	Diane Tirado-Lampert
授業内容	社会学の基本的な知識について学習した。
試験・課題など	試験はなく学期を通して3つのペーパーを提出するだけだった。
感想を自由記入	先生が教科書の内容をもとに社会学について講義する授業だった。朝の8時から始まる授業だったため生徒も元気がなかったが授業の内容はとても興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
AMS 101 America: An Introduction	アメリカンスタディーズ*
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン、講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が1回
担当教授	Eileen Gupta
授業内容	合衆国憲法の解釈についてや黒人差別の歴史、アメリカが現在抱える問題などについて学習した。
試験・課題など	中間と期末にオンラインでテストがある。それ以外に Assignment としてペーパーの提出が数回ある。
感想を自由記入	毎週 zoom で授業が行われた。アメリカの歴史や課題についてアメリカ人の視点から学ぶことができ大変興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
PSY 100 Psychology		心理学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50, 90 分が計 2 回		
担当教授	Christen Trapani-Kerm		
授業内容	データ分析の仕方や精神障害、脳の神経など幅広く基本的な心理学について学習した。		
試験・課題など	單元ごとに授業内容を振り返るクイズがあった。試験はオンラインでテストを受けるだけだった。プレゼンテーションを録画する課題もあった。		
感想を自由記入	他の授業と比べて課題が多く大変な授業だったが教授もわかりやすく教えてくれるためとても興味深い講義だった。クイズやテストもしっかりと復習していれば簡単なものばかりだった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
GEG 100 Introduction to Geography		地政学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 160 分が 1 回		
担当教授	Anup Desai		
授業内容	地理的な知識についてではなく環境問題や世界の紛争など世界中の社会問題について学習した。		
試験・課題など	ビデオを見てレポートを書く課題やクイズなど。期末はオンラインテストとペーパー		
感想を自由記入	大きなホールでの講義だったが生徒が積極的に自身の意見を教授に伝えるため意見交換がとても活発な授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
WGS 100 Women's History and Feminist Theory			
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンデマンド、講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Artemida Tesho		
授業内容	ウーマンリブ、第二波フェミニズムの台頭などフェミニズムの歴史について学習する		
試験・課題など	教授から配信される TED や本の内容について自分の考えをまとめたペーパーを提出する課題が数回あった。また講義内容を振り返るクイズが学期末含めて5回あった。		
感想を自由記入	オンライン形式だがズームに参加したり教授が講義した動画が配信されるのではなく、YouTube の動画や TED のスピーチ、本の PDF が配信され、それらを各自で見るといった形式だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CHN 112 Beginning Mandarin in Chinese 1		中国語初級(北京語)	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Tinny Lai		
授業内容	中国語(Mandarin)の基本について拼音から学び、簡単な文章や文法を学習した。		
試験・課題など	中間と学期末にプレゼンテーションがあった。		
感想を自由記入	先生はとても優しく、分かりやすく教えてくれた。漢字と似ているので writing の部分はとても簡単だったが発音が難しかった。ペアになって練習したりするのでクラスメイトと友達になりやすい授業だと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MUS 105 World Music	世界の音楽
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が1回
担当教授	Joseph Kaminski
授業内容	世界各地の伝統音楽について文化や歴史と紐づけて学習する。
試験・課題など	学期を通して3回2ページ前後のペーパーを提出した。対面での試験はなかった。
感想を自由記入	毎回それぞれの地域や国の伝統的な音楽を紹介するビデオを見るだけだった。先生はとても優しく、わかりやすく解説してくれた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

早い人は3年の春から就活を始めているため、2年の秋から留学に行く場合は留学先で就活を始めることになります。私も滞在中に深夜にオンラインで面接を受けました。面接で、今アメリカにいます、と伝えるとかなりの確率で面接官の興味を惹くことができるので余裕がある方は留学中に就活を始めると有利になると思います。帰国してから就活を始めようとするとサマーインターンの申し込みがすでに締め切ってしまうということも多くあるので早いうちからやっておいても損はないと思います。ボストンキャリアフォーラムなどに参加するのも良いと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFLの対策
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	入学手続き(出願)、ビザの取得、予防接種、航空券購入
	8月～9月	8月の頭に渡航、8月末秋学期開始
	10月～12月	10月中間試験、12月期末試験、冬休み
留学/帰国年	1月～3月	2月中間試験
	4月～7月	4月春休み(2週間)、5月末 春学期終了、6月1日帰国
	8月～9月	サマーインターン等、9月明治の秋学期開始
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

9ヶ月間という期間は長いようであつという間で、自分から積極的に活動していかないと何もしないまま一瞬で終わってしまいます。留学中に取ることができる授業の数が少なく、思っていたよりも暇な時間がたくさんありました。そうした時間をどのように活用するか次第で留学生活は全く変わっていくと思います。私は秋学期の始めはあまり自分から積極的に動くことができず、空き時間を有効に活用することができていませんでした。これから留学に行こうと思っている人はそうした後悔をしないように常に自分から積極的に行動すると良いと思います。

また、友達作りに関しても、自分から話しかけにいかないと多くの友達を作るのは難しいです。特に私が取っていた授業のクラスメイトのほとんどは、授業が終わった瞬間に教室を出ていっていました。また、この大学はニューヨークの中心地にとっても近く、生徒の多くがマンハッタンに遊びに行くため、大学内のイベントや寮のイベントはあまり盛り上がりませんでした。どのようなことに対しても常に自分から主体的に動くことが大切だと思います。